

令和 6 年 9 月能代市議会定例会

市 長 説 明 要 旨

令和6年9月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、能代駅前でのホテル建設計画についてであります。昨年8月に市内事業者有志により設立された株式会社N e x tにおいて、大栄百貨店ビル用地を中心としたホテル事業について様々な検討がなされてきました。そうした中、多様なホテル事業を手がける株式会社デベロップより、ビルの解体からホテルの建設・運営までを行う計画が提案され、N e x tは、同計画に協力していくこととなりました。

8月29日には2者が来庁し、デベロップから、70室程度のホテルを建設し、令和8年のオープンを目指している旨の説明とともに、市有地の売却及び事業費に対する財政支援の要望がありました。

市といたしましては、当該事業は、市有地にある大栄百貨店ビルの撤去により廃ビル化の懸念が払拭されることに加え、宿泊施設不足の解消や中心市街地の活性化にも資するものでありますので、支援について検討してまいります。

次に、民間と連携した外国人材受入の環境づくりについてであります。企業の人材不足対策として外国人材活用の必要性が高まっている中で、新たに雇用するための知見やノウハウが不足している企業が多い現状であります。このため、市内企業が中心となって、外国人材の獲得と定着に向けた取組が開始されております。

これは、市内企業が業種の垣根を超えて共同で一般社団法人を設立し、必要なノウハウや人材獲得・管理における仕組等を地域で共有・共通化するとともに、日本語能力が高い優秀な人材を育成する海外の送り出し機関や大学等とのパイプを作ること、質の高い人材を安定的に確保することを目指しており、今年度の経済産業省補助事業「地域の人事部」に採択されております。

市といたしましては、こうした民間の動きと連携し、外国人材の地域共生に向けた取組や受入企業への支援等、外国人材が地域で安心して働き、生活できる環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

能代市人口ビジョンの改訂及び次期総合戦略の策定についてであります。第2期総合戦略は今年度が推進期間の最終年度となっており、切れ目なく各種施策を推進するため、本市の地域特性を踏まえた次期総合戦略を策定することとしております。現在、最新の国勢調査結果や3月に実施した人口減少対策に関するアンケート調査結果等に基づく現状分析、将来人口の推計のほか、総合戦略会議からの様々な御意見等を踏まえながら、策定作業を進めております。

今後、議員の皆様の御意見をお伺いするとともに、パブリックコメント等を経

て、年度内に人口ビジョンの改訂及び次期総合戦略の策定をしたいと考えております。

女流本因坊戦の開催についてであります。第43期5番勝負の第2局が10月20日に旧料亭金勇で行われることが決定いたしました。令和4年に続いて4度目の開催となり、現在4連覇中の藤沢里菜女流本因坊と^{にゅうえいこ}牛栄子四段による注目の対局となります。

対局に合わせて、囲碁大会や大盤解説会等の記念事業を実施し、市内はもとより、県内外から多くの方々に御来場いただけるよう、本因坊戦能代市開催実行委員会をはじめ、関係者の皆様とともに準備を進めてまいります。

宇宙のまち能代関連行事についてであります。8月11日からの8日間をのしろ宇宙ウィークとし、のしろ銀河フェスティバル2024及び第20回能代宇宙イベントが開催され、全国から大学生、高校生等合わせて約500人が参加したほか、市内外から多くの方々においでいただきました。

のしろ銀河フェスティバルは、子ども館等の4施設を会場とし、ペットボトルロケット工作教室やJAXAメンバーによる講演会等、各会場で趣向を凝らしたイベントを実施いたしました。

能代宇宙イベントは、あきた宇宙コンソーシアムが主催し、缶サット競技やハイブリッドロケットの打ち上げ等を行いました。さらに、今年は20回を記念して、市内小中学校をはじめ、県内外から寄せられたモデルロケットの同時打ち上げを行い、2,043機の日本新記録を達成しております。

ロケットの製作に御協力いただいた小中学校、宇宙少年団等の皆様並びにイベント開催に当たり、会場の整地及び草刈り作業等、多大なる御支援、御協力をいただいた能代山本建設業協会をはじめ、地元浅内地区及び落合地区の各自治会等の皆様に深く感謝を申し上げます。

市といたしましては、こうしたイベントの開催等を通じて、学生等の宇宙科学技術の向上や交流人口の増加等を図るとともに、宇宙のまち能代の更なるPRに努めてまいります。

次に、二ツ井地域の保育所の統合についてであります。入所児童数が減少しており、8月1日現在の児童数は、二ツ井子ども園54人、きみまち子ども園34人となっております。

今後も入所児童数の減少が見込まれることから、こどもたちの保育環境の充実と園運営の効率化を図るため、きみまち子ども園を令和7年度末に廃止し、二ツ井子

ども園に統合したいと考えております。

市といたしましては、円滑な統合に向けて検討を進め、保護者の皆様の御理解を求めてまいります。

特別養護老人ホーム長寿園廃止に伴う民間による新たな施設整備についてであります。第9期介護保険事業計画に基づき、スケジュールや施設規模、整備条件等、公募の詳細を定め、8月29日に募集説明会を開催しております。

応募の受付期間は令和7年1月14日までとし、能代市活力ある高齢化推進委員会施設選定部会による書類審査、ヒアリング審査等を経て、事業予定者を今年度中に選定することとしております。

次に、能代地域のし尿くみ取り料金の改定についてであります。過日、株式会社能代清掃センターから市に対し、180リットルまでのし尿くみ取りの基本料金を、税別で現行の1,890円から2,091円とする改定趣意書が提出されました。市では、その内容を能代市環境審議会へ報告し審議いただいたところ、改定は妥当との御意見をいただきましたので、趣意書の料金については、妥当と同社へ通知しており、最終的に事業者にて決定され、10月1日くみ取り分から適用されることとなります。

市といたしましては、広報のしろ等で新料金を周知するとともに、今後もし尿くみ取り料金が適正となるよう努めてまいります。

白神ウインド地域ファンドの募集についてであります。能代市及び八峰町内で風力発電事業を進めている白神ウインド合同会社において、事業資金の一部として地域住民等から出資を募る地域参加型ファンドの募集が、10月から開始される予定となっております。

このファンド活用は、再生可能エネルギーの導入による経済的効果を広く地域に還元するとともに、市民の風力発電に対する理解を深め、今後、その恩恵の多くを地域自らが享受することに繋がっていくものと期待しております。

中心市街地での交流機能の再構築についてであります。中心市街地活性化推進協議会において御意見をお伺いしながら検討しており、市民プラザ事業を今年度末の契約期間満了をもって廃止した上で、そこへ令和7年度に中心市街地活性化室を移転し、市直営で管理運営することを考えております。

この施設については、交流拠点として活用していただけるよう、現市民プラザと同様に1階はフリースペースとして運用しながら、中心市街地における交流機能の

充足や効果を検証するとともに、民間活用やチャレンジの場としての活用等についても研究してまいりたいと考えております。

奥羽本線における東能代駅から能代駅間のスイッチバック化についてであります。令和5年10月に本市を含めた県内の政治・行政・大学・産業界の団体等が参加し、秋田の未来を創る協議会が設立されました。同協議会では、秋田県の優位性とチャンスを生かして「明るい秋田」を実現することを目的に、県民からの意見聴取や協議が行われてまいりました。

そうした中、6月14日に開催された同協議会の共同代表会議において、スイッチバック化に向けて取り組んでいくこととなり、8月30日に役員である能代市山本郡の商工団体の代表等が来庁し、その説明と活動への協力依頼がありました。

市といたしましては、この実現は本市の活性化や公共交通の利便性向上に寄与するものと考えておりますので、同協議会を中心とした要望活動等に協力してまいります。

次に、富根地区及び仁鮎地区の簡易水道事業についてであります。令和5年度の収益的収支の決算は、108万2千円の赤字となりました。

現在は、旧簡易水道基金から引き継いだ現金預金等を活用して事業を運営しておりますが、今後も、給水収益の落ち込みにより収入が年々減少することから、8年度以降、現行の水道料金では経営が困難になるものと想定しております。

今後、事業を継続していくため、健全経営と公営水道の負担の公平性を考慮しながら、8年度から料金を改定する方向で検討してまいりたいと考えております。

次に、中学校部活動の地域移行についてであります。市では、令和5年度において今後の取組の方向性を示す能代市部活動地域移行推進計画を策定したほか、市の方針や運営体制の協議を行うことを目的とした能代市部活動地域移行推進協議会を設立いたしました。6年度からは、地域移行したクラブチームや指導者の管理運営及び学校等との調整に関する業務を市スポーツ協会へ委託して取組を進めたいと考えておりましたが、学校をはじめとする関係団体と協議を進める中で、クラブチームや指導者を管理するためのマニュアルの整備や役割分担の明確化が必要であるほか、活動場所や指導者の確保等、多くの課題が出てきております。

こうしたことから、業務委託による取組を見直すとともに、学校や関係者等との認識の共有を図りながら、今後の推進体制や同計画について再度検討したいと考えております。

次に、第69回全国高等学校軟式野球選手権大会についてであります。8月25日から30日まで兵庫県で開催され、西東北代表として能代高等学校軟式野球部が出場いたしました。準決勝で東海代表の中京高等学校に敗れたものの、9年ぶりとなる準決勝進出であり、選手、関係者の皆様に心から敬意を表するものであります。市では、同校の大会派遣後援会から派遣費支援の要望を受け、寄附金として100万円を予備費から充用し、支出いたしました。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正は、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議する能代市災害弔慰金等支給審査委員会の設置規定を追加するとともに、災害援護資金の据置期間経過後の利率を無利子にしようとするものであります。

能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正は、生活保護法及び児童手当法の一部改正に伴い、条文を整理しようとするものであります。

能代市老人憩の家条例の一部改正は、老朽化に伴い、白濤亭を廃止しようとするものであります。

能代市国民健康保険条例の一部改正は、国民健康保険被保険者証の廃止に伴い、罰則規定を整理しようとするものであります。

このほか、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理、能代ふれあいプラザ空気調和設備等改修工事の請負契約、秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更、向能代公民館改築工事（建築主体工事）の請負契約、能代市中小企業融資あっせんに関する条例の一部改正、土地の取得、令和5年度の能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定、各企業会計決算の認定について提案しております。

次に、令和6年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算については、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、個人市民税、固定資産税及び普通交付税の追加、財政調整基金繰入金の減額、前年度繰越金の追加等であります。

次に歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、財政調整基金積立金6億2,002万1千円を、民生費においては、過年度国庫負担金等返還金として、社会福祉費と児童福祉費を合わせて2,469万1千円を追加等しております。

衛生費においては、带状疱疹予防接種費 5 7 4 万 5 千円を、農林水産業費においては、ねぎ産地持続発展対策事業費 2, 8 1 9 万円、畑作等拡大総合支援事業費補助金 1, 0 9 5 万 5 千円を追加等しております。

商工費においては、地域公共交通活性化事業費 1, 6 8 5 万 3 千円を、土木費においては、住宅リフォーム支援事業費 2, 0 0 0 万円を追加等しております。

教育費においては、地域スポーツクラブ活動体制整備事業費 5 5 9 万 9 千円を減額したほか、災害復旧費においては、林道災害復旧事業費 5 3 8 万 4 千円を追加等しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は 7 億 4, 4 1 3 万 8 千円となり、これを 6 月補正後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は 3 5 7 億 9, 0 7 7 万 8 千円となります。

このほか、令和 6 年度各特別会計補正予算案及び下水道事業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

なお、人権擁護委員の候補者の推薦については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。

